



日本における文庫活動の現状 ： 質問紙調査の結果から

汐崎順子 shio-js@z6.keio.jp 慶應義塾大学(非常勤)

研究の 背景と目的





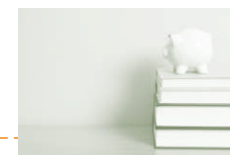
▶ 本研究における“文庫”（定義）

“子ども文庫とは、民間の個人やグループが自宅や地域の施設で、子どもを対象として図書の閲覧や貸出し、お話会や読み聞かせを行う私設の図書館のことである”¹⁾ (高橋)

(“文庫” = “子ども文庫”と同義とする)

▶ 文庫の分類

- ▶ 家庭文庫（個人が自宅を開放）
- ▶ 地域文庫（グループが地域の施設を利用）





▶ 文庫の誕生と発展（戦後）

- ▶ 1950年代に母親を中心として、地域の子どもたちに読書の機会を提供する場として誕生
- ▶ 特に1960年代後半～70年代に発展し、全国に広がる

▶ 現在

- ▶ 子どもの読書環境を支える一要素として認知
- ▶ 運営形態と活動内容は多様化

▶ 文庫の研究

- ▶ 体系的研究は不在
- ▶ 全国的調査は1993年が最後





研究の目的

戦後の日本における、子どもの読書環境に対する取り組みの中で、
“独自の文化活動”といわれている文庫の

- ▶ **現状・実態**
- ▶ **運営者の意識**

を明らかにすること



研究の 視点と方法





研究の視点

▶ 量的調査による現在の“文庫”の検証

- ▶ 自発的な草の根の活動である文庫の実態把握の難しさ
- ▶ さまざまな視点からの検証が必要

…たとえば

- ▶ 個々の活動事例の研究，地域別の研究
- ▶ 全体的な動き，歴史的な歩みを総括する研究
- ▶ 全体に共通する，一般化できる要素を見出す研究

→本研究では

全体の動きを量的に把握して客観的に検証するため

全国的な質問紙調査の実施





研究の方法

▶ 質問紙調査の実施

- ▶ 時期：発送/2010年5月→締切/6月
- ▶ 発送数：1,154件/回収数：638件(55.3%)

有効数：528件(45.8%)

▶ 調査内容：A4/8p

①基本情報(設立年/運営者/会員数/開庫日数/貸出数/蔵書数等),活動内容,行政や地域との関わり方等を問う設問
(1993年の全国調査¹⁾の項目も踏襲)

②記入者(文庫の運営者)の活動に関わる意識を問う設問
(選択および自由記入)



文庫の現状 ～調査結果



全体像・ 地域的な分布





家庭文庫と地域文庫の比率

▶ 比率上は家庭文庫増加の傾向

(1993年調査との比較から)

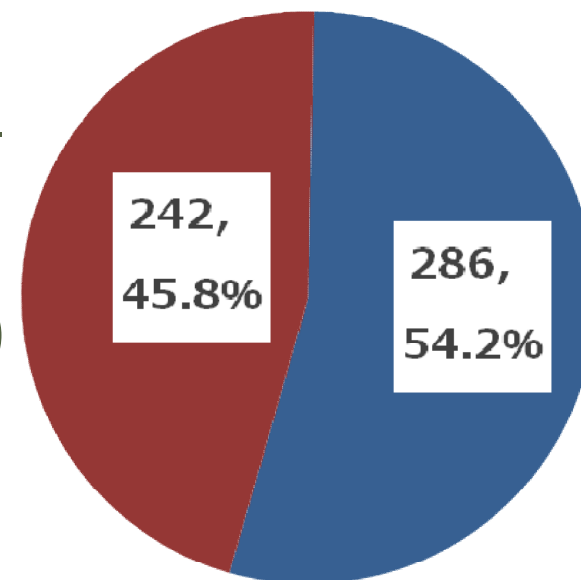
家庭文庫：全体の45.8%(242)

▶ 1993年調査では・・・

家庭文庫：38.9%

“家庭文庫は減少の傾向”と報告

(1993年調査の標本数：1,888)



■ 家庭文庫 ■ 地域文庫

N=528 (文庫)





活動の地域性

▶ 地域的分布:変化の小ささ

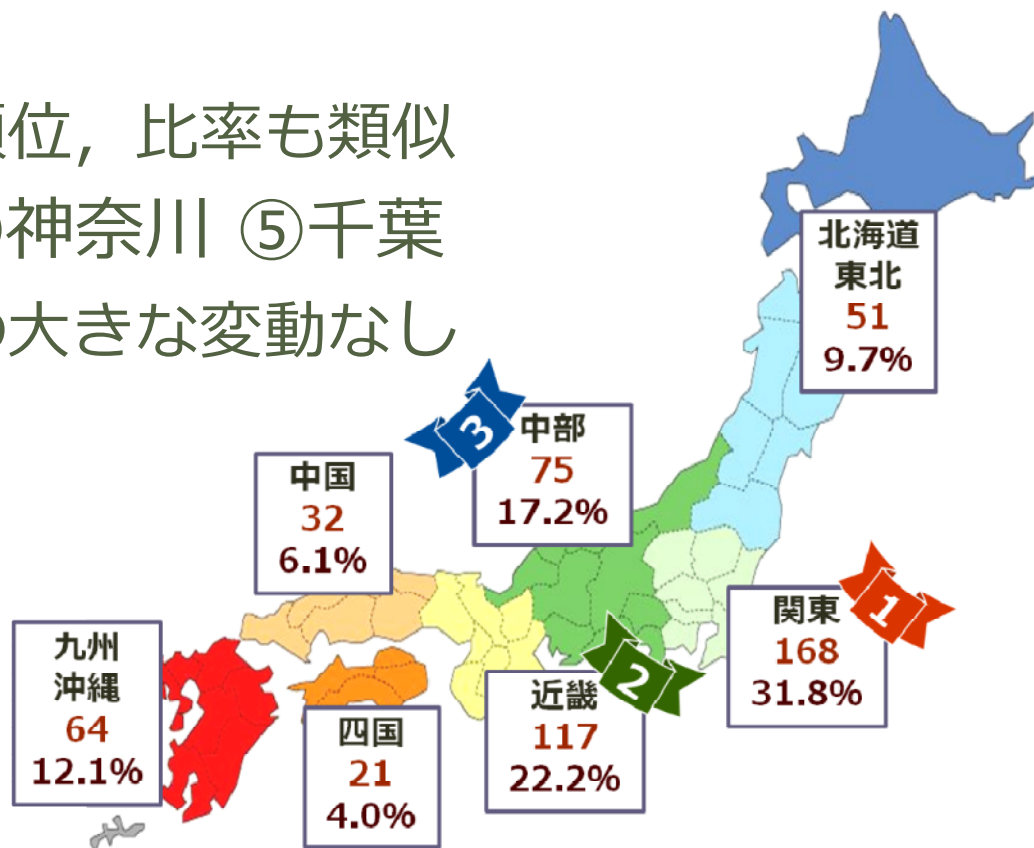
①関東 ②近畿 ③中部

…1993年調査と同順位, 比率も類似

①東京 ②埼玉・大阪 ④神奈川 ⑤千葉

…上位(県別)の順位の大きな変動なし

都道府県	2010		1993	
	数	順位	数	順位
東京	56	①	164	①
埼玉	39	②	92	⑥
大阪	39	②	116	④
神奈川	37	④	158	②
千葉	31	⑤	85	⑦
福岡	29	⑥	121	③
兵庫	26	⑦	52	⑬
北海道	21	⑧	49	⑭
滋賀	20	⑨	94	⑤
京都	18	⑩	69	⑧



設立年・



運営者の文庫歴



文庫の設立年

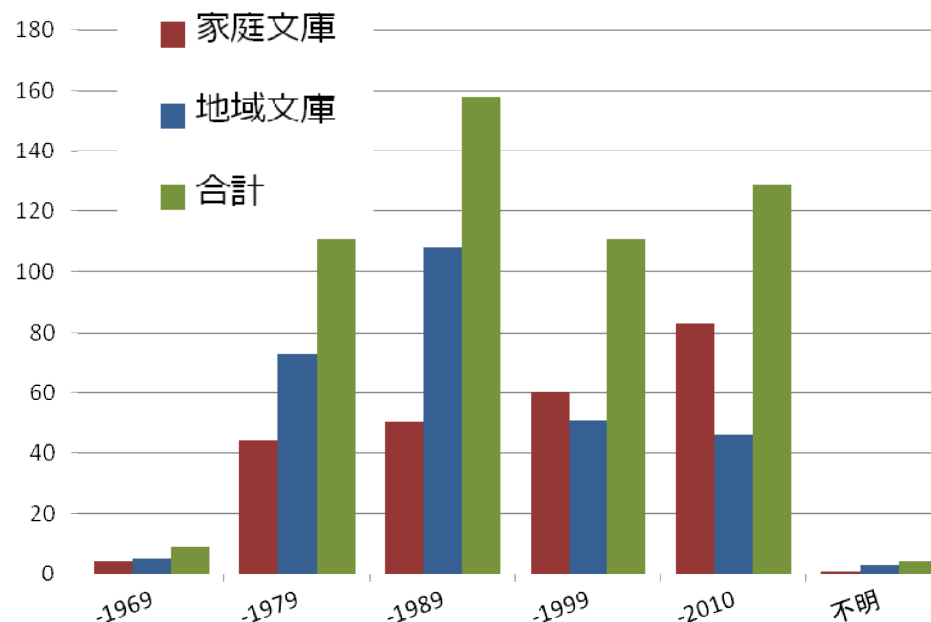
- ▶ 設立年：1949(1:地域文庫)~2010(3:家庭文庫)
- ▶ 全体：新・旧それぞれの文庫の存在
 - ▶ 1970年代以降の各年代に設立した文庫が存在

▶ 家庭文庫増加の傾向

(比率上)

- ▶ 1990年代以降の設立
→家庭文庫 > 地域文庫
…2000年以降

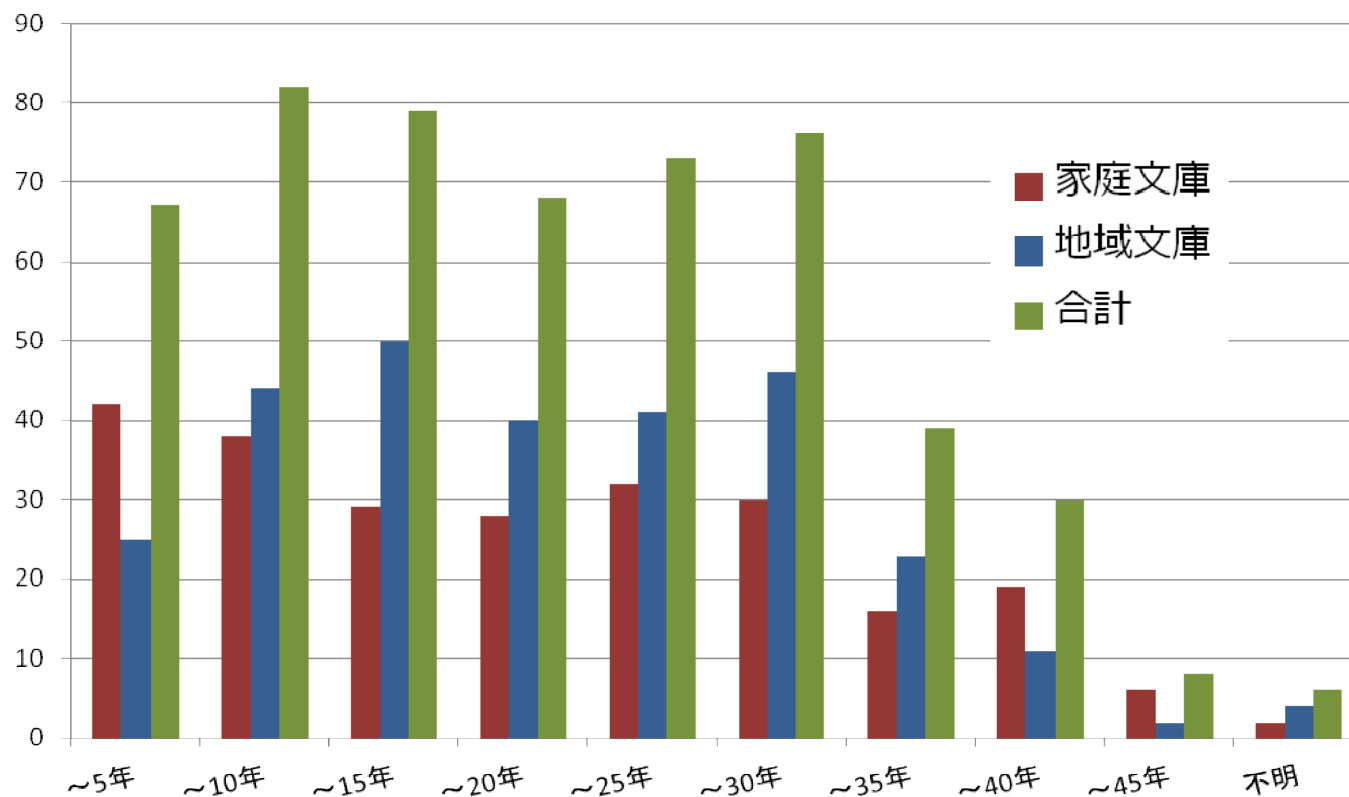
家：83(64.3%)





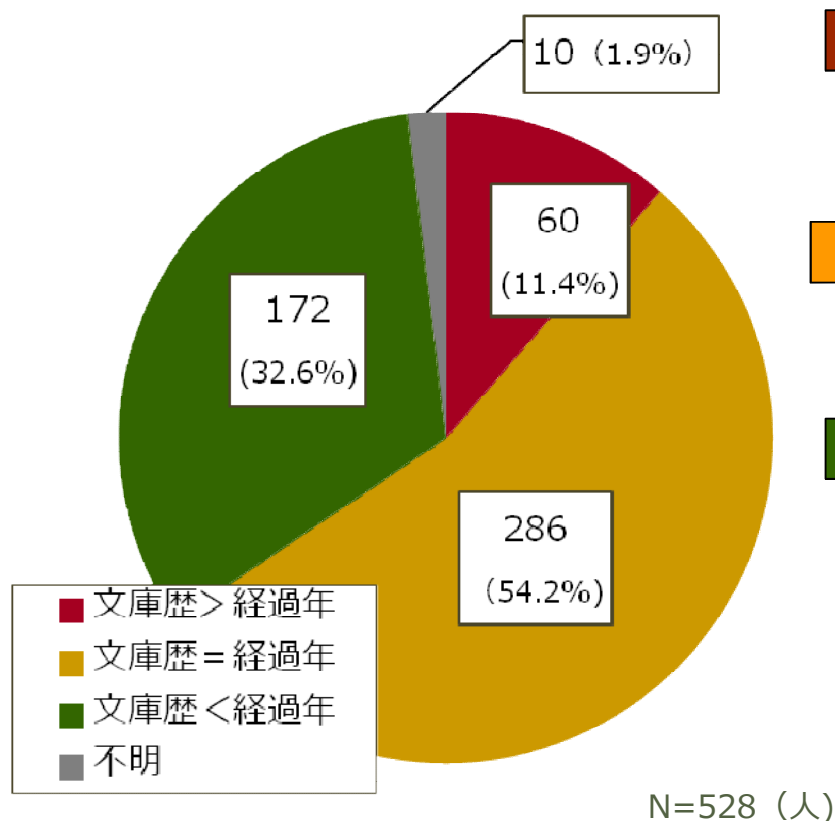
運営者(記入者)の文庫歴

- ▶ 文庫歴(文庫活動に関わった年数)
 - ▶ 長年の活動の様子
 - ▶ 最長：45年(家庭文庫)…*記入者の文庫は1975年に設立





運営者(記入者)の文庫歴



■ 文庫歴 > 経過年数(60)

…以前に文庫経験あり

■ 文庫歴 = 経過年数(286)

…現文庫での活動との重なり

■ 文庫歴 < 経過年数(172)

家庭文庫の数(24)の意味は？

…家庭文庫の運営の継承

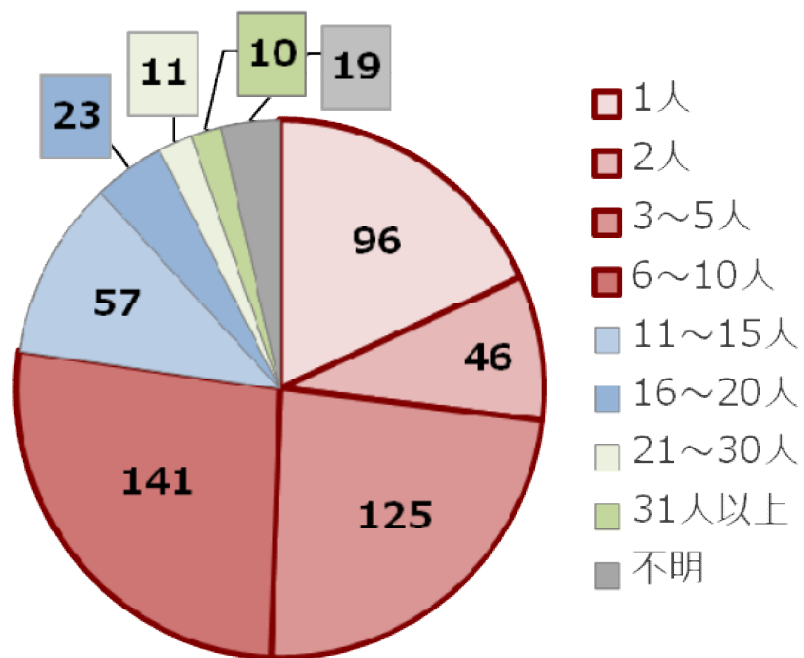
親～子, 妻～夫, 友人→など



運営者の人数・ 年齢層と性別



運営者の人数



▶ 少人数での運営(全体)

- ▶ 10人以下の運営
: 408文庫(全体の77.3%)
- ▶ **1人での運営**
: 96文庫(18.2%)
~最多は70人 (地域文庫)

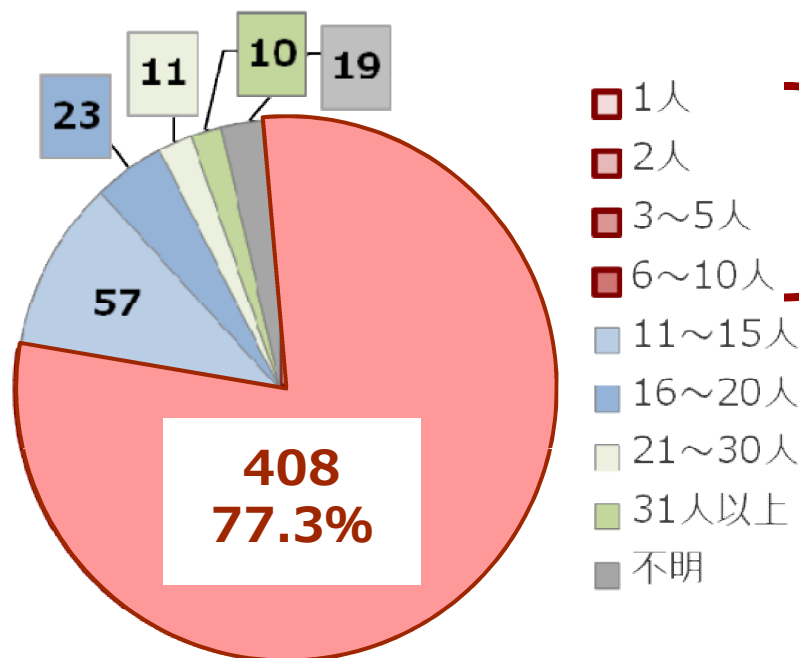
▶ 家庭文庫は「1人での運営」が多い

- ▶ 家庭文庫全体では,80/242
- ▶ 2000年以降の設立では,個人化の傾向がより顕著に





運営者の人数



▶ 少人数での運営(全体)

- ▶ 10人以下の運営
: 408文庫(全体の77.3%)
- ▶ 1人での運営
: 96文庫(18.2%)
~最多は70人 (地域文庫)

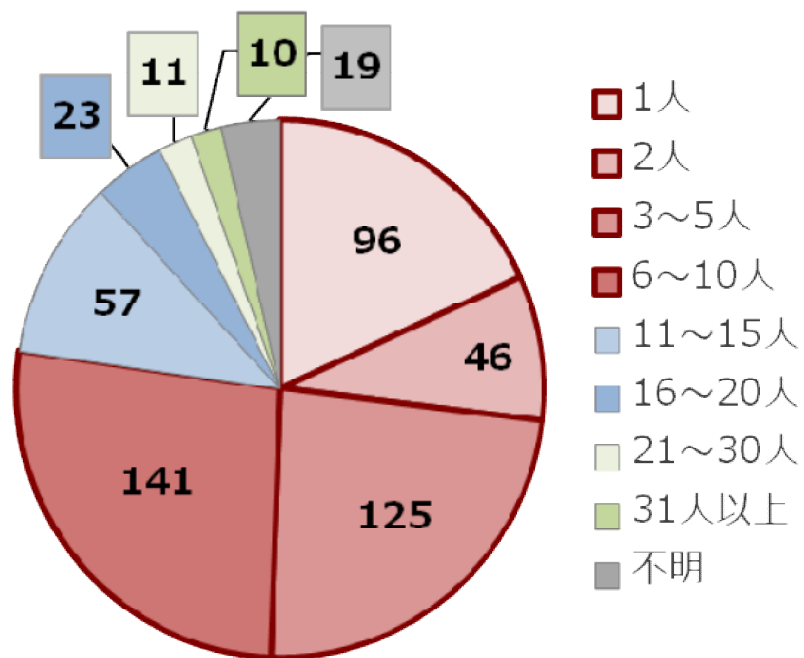
▶ 家庭文庫は「1人での運営」が多い

- ▶ 家庭文庫全体では,80/242
- ▶ 2000年以降の設立では,個人化の傾向がより顕著に





運営者の人数



▶ 少人数での運営(全体)

- ▶ 10人以下の運営
: 408文庫(全体の77.3%)
- ▶ **1人での運営**
: 96文庫(18.2%)
~最多は70人 (地域文庫)

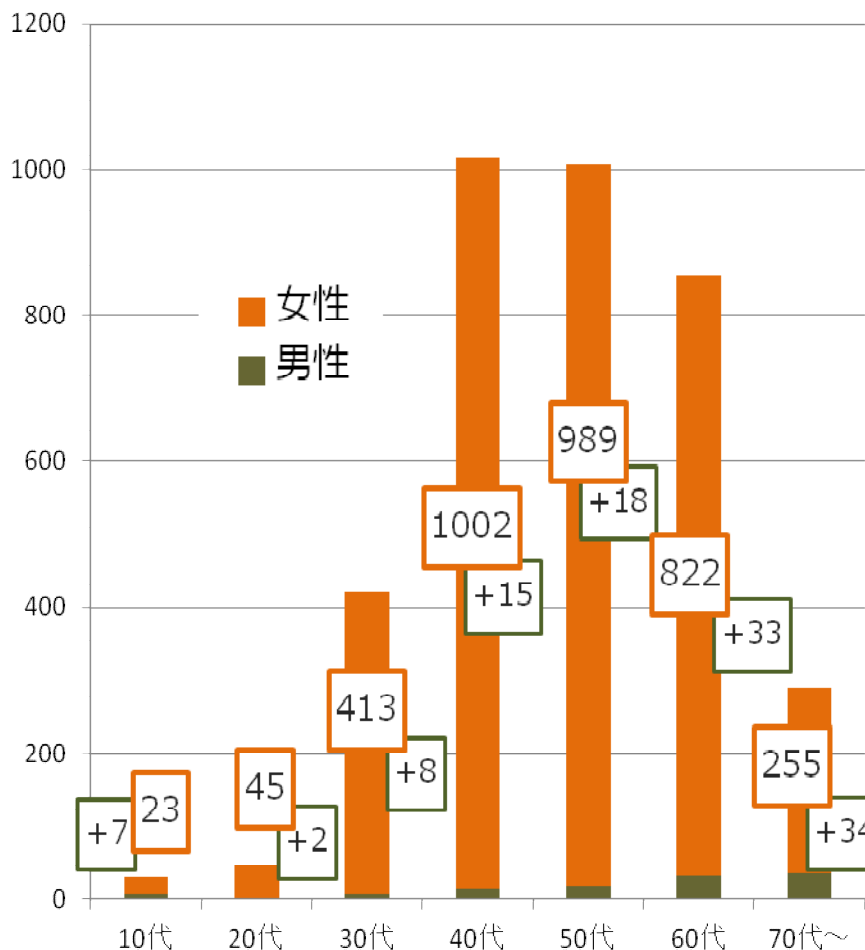
▶ 家庭文庫は「1人での運営」が多い

- ▶ 家庭文庫全体では,80/242(33.1%)
- ▶ 2000年以降の設立では,個人化の傾向がより顕著に





運営者の年齢・性別



運営者の高齢化（全体）

40代～60代が主

- ▶ →2,879/3,666人(78.5%)
- ▶ 1993年調査～高齢化の進行

新しい文庫も高齢者が中心

2000年以降設立の文庫

- ▶ →40～60代が75.8%(529/698人)

男性は少数，さらに高齢化

- ▶ 全体では3.2%(117/3,666人)
- ▶ 70代の運営者が最多(34/117)

*運営者数の合計：3,666人 回答：509文庫



蔵書数・施設





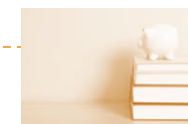
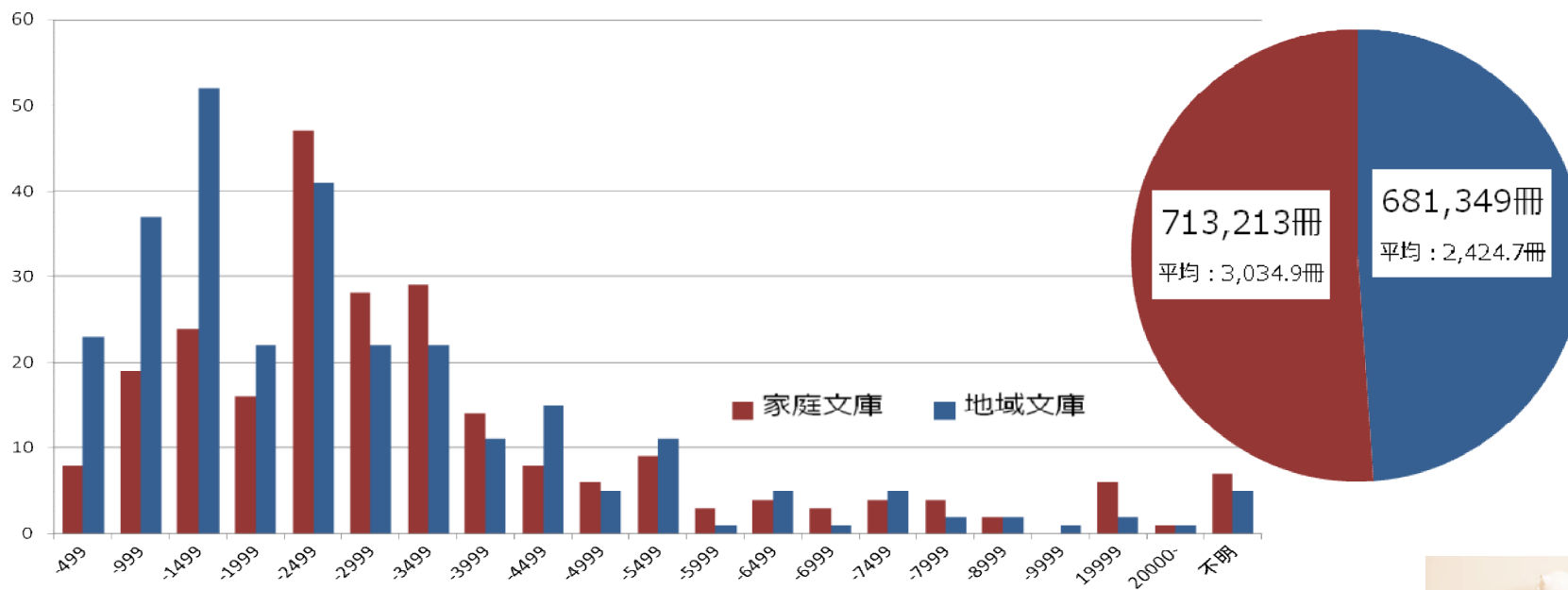
蔵書数

▶ 蔵書冊数の増加(充実)

- ▶ 蔵書冊数の合計* : 1,394,562冊, 平均蔵書冊数 : 2,702.6冊
>1993年調査 : 「2,000冊規模が主」 *回答516文庫

▶ 家庭文庫の蔵書数の多さが顕著に

- ▶ 家庭文庫 > 地域文庫…平均3,034.9冊(家)⇔2,424.7冊(地)





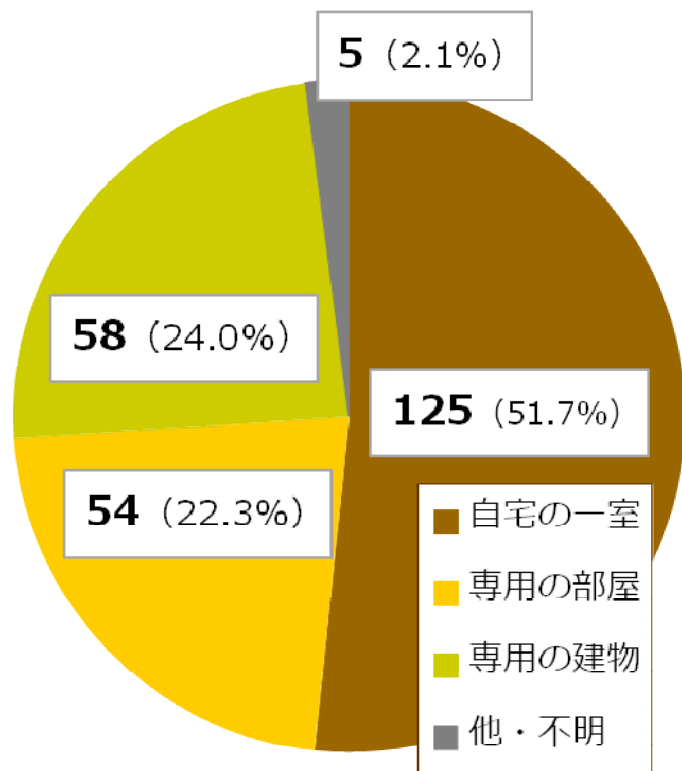
施設（家庭文庫に見られた傾向）

▶ 家庭文庫の充実

→半数近くが“文庫専用”の
場所・施設を確保・提供

- ▶ 一室を利用→125 (51.7%)
- ▶ 専用の部屋・書庫→54(22.3%)
- ▶ 独立の建物→58 (24.0%)

…蔵書数の充実（増加）と関連？



N=242 (文庫)





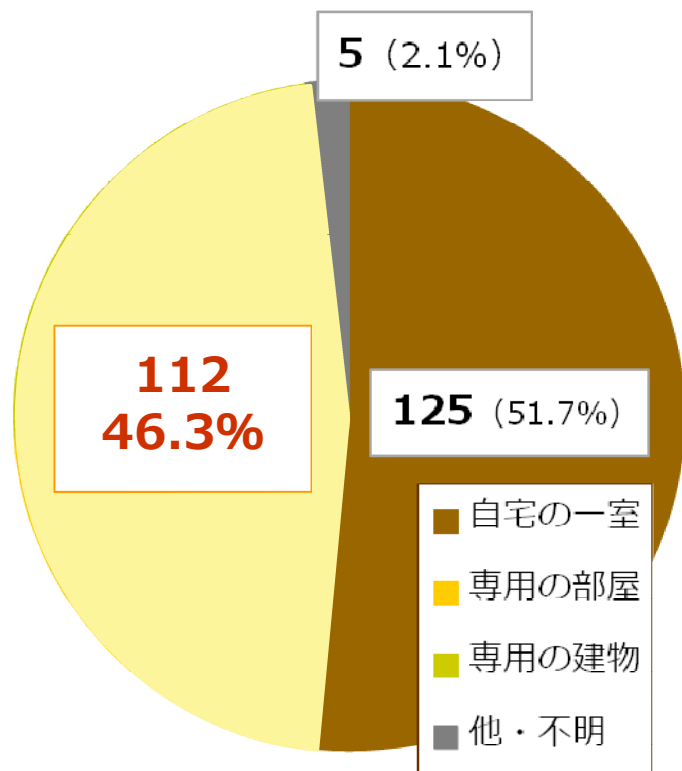
施設（家庭文庫に見られた傾向）

▶ 家庭文庫の充実

→半数近くが“文庫専用”の
場所・施設を確保・提供

- ▶ 一室を利用→125 (51.7%)
- ▶ 専用の部屋・書庫→54(22.3%)
- ▶ 独立の建物→58 (24.0%)

…蔵書数の充実（増加）と関連？



N=242 (文庫)





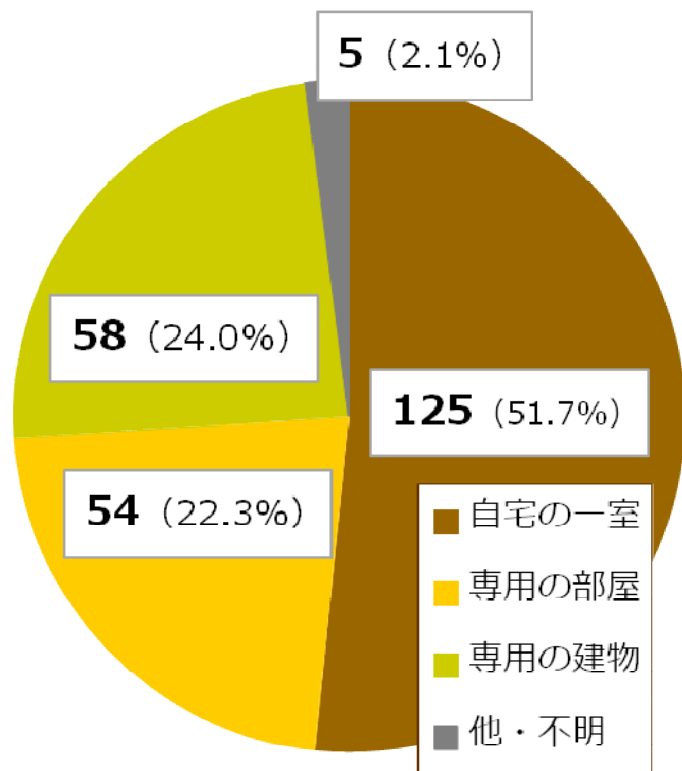
施設（家庭文庫に見られた傾向）

▶ 家庭文庫の充実

→半数近くが“文庫専用”の
場所・施設を確保・提供

- ▶ 一室を利用→125 (51.7%)
- ▶ 専用の部屋・書庫→54(22.3%)
- ▶ 独立の建物→58 (24.0%)

…蔵書数の充実（増加）と関連？



N=242 (文庫)



文庫の活動1

頻度・会員・利用



開庫の頻度

▶ 定期的な活動

- ▶ ①毎週決まった曜日に:336 ②毎月決まった日数:164

▶ “週に1日”が最多 (263:49.8%)

- ▶ 次は“月2日”(89:16.9%)
- ▶ “週7日”の家庭文庫は, 時間も「終日」

▶ 水・土の開庫が多い

～1993年調査と類似の結果～

日数\曜日	月	火	水	木	金	土	日
1日	25	20	84	36	20	70	8
2日	4	9	12	9	9	20	5
3日	3	1	5	2	3	3	1
4日	4	4	6	5	5	2	2
5日	4	6	6	6	6	2	0
6日	7	7	7	7	7	7	0
7日	13	13	13	13	13	13	13
合計	60	60	133	78	63	117	29

毎週			毎月			
家庭	地域	合計	日数	合計	家庭	地域
124	139	263	1日	40	19	21
18	16	34	2日	89	33	56
6	0	6	3日	11	3	8
3	4	7	4日	9	3	6
3	3	6	5日	6	2	4
5	2	7	6日	6	2	4
8	5	13	7日	1	0	1
			8日	0	0	0
			9日	1	1	0
			10日	1	0	1
167	169	336	合計	164	63	101





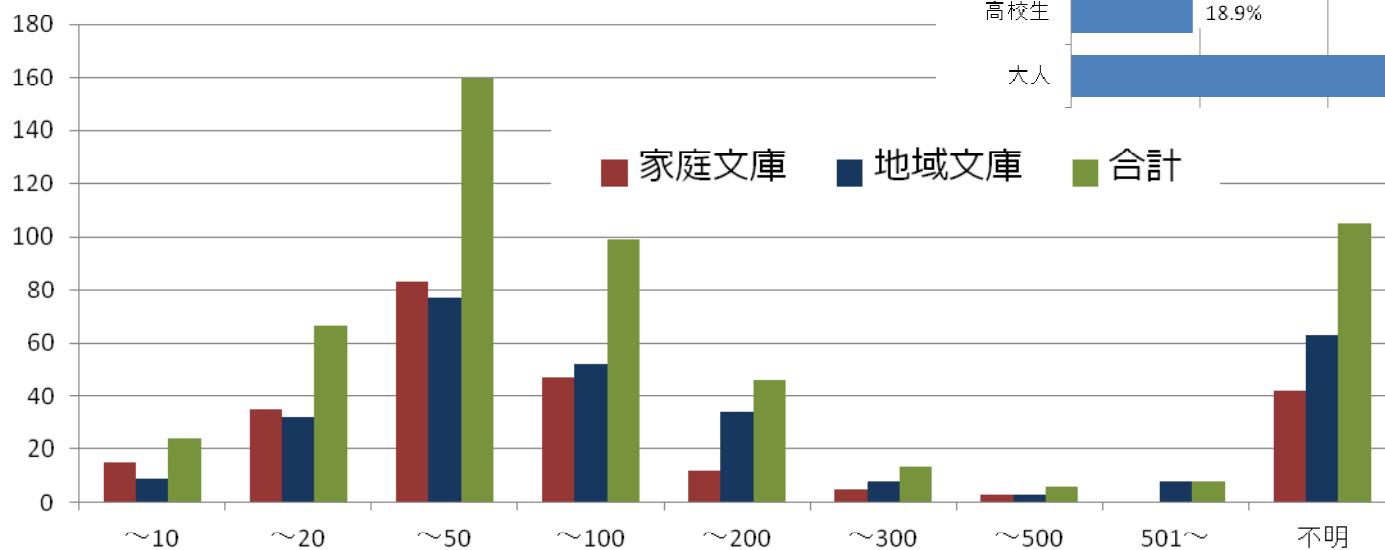
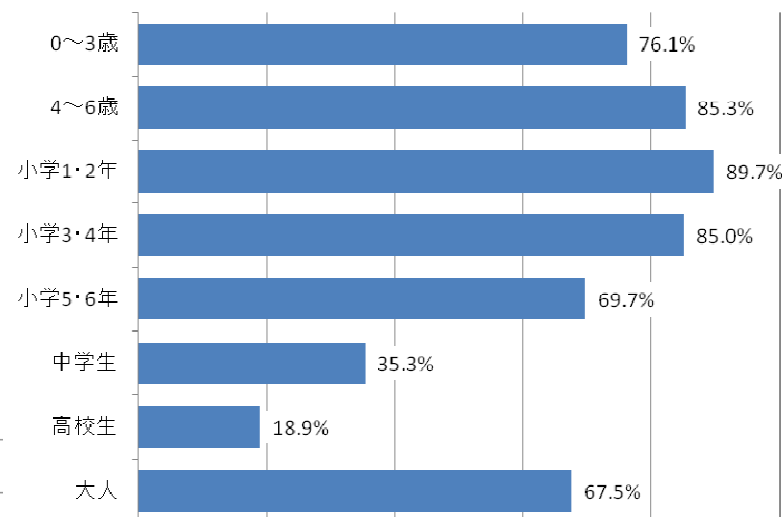
会員数・年齢別分布

▶ 会員数は減少傾向（1993年調査との比較）

▶ ~100人が大多数

▶ 幅広い年代の利用

▶ 小学生が中心だが、就学前・
中・高校生・大人(親)の利用も





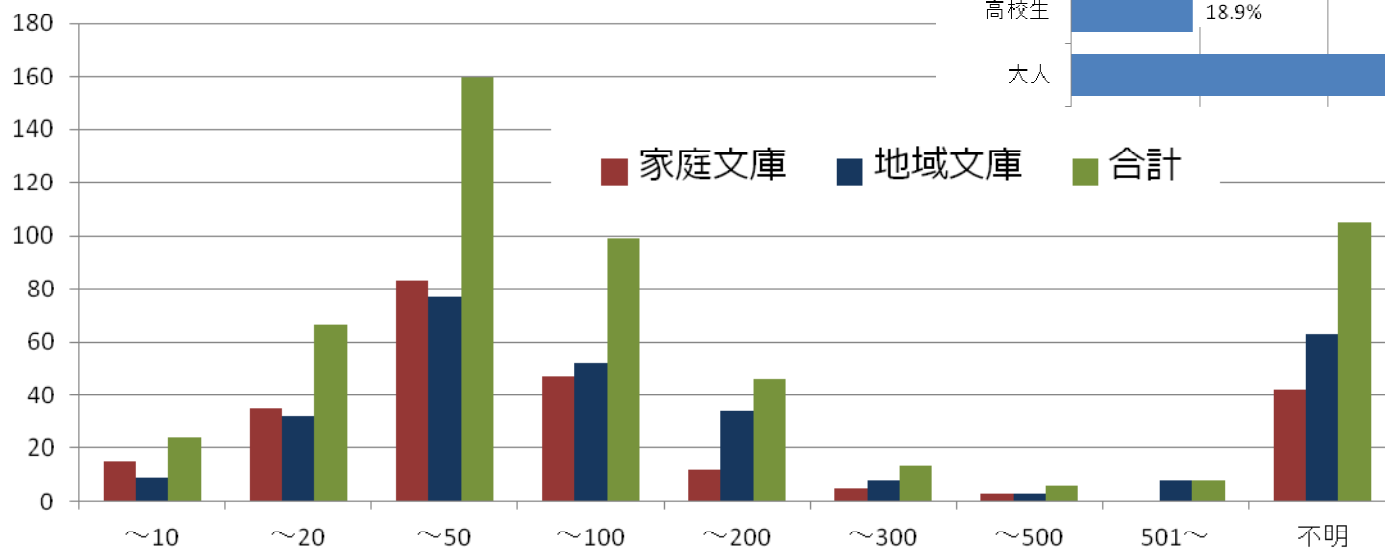
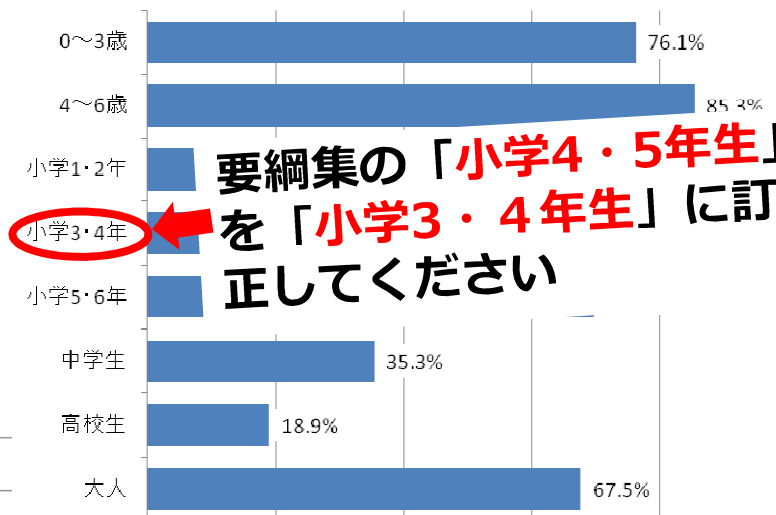
会員数・年齢別分布

▶ 会員数は減少傾向 (1993年調査との比較)

▶ ~100人が大多数

▶ 幅広い年代の利用

▶ 小学生が中心だが、就学前・中・高校生・大人(親)の利用も





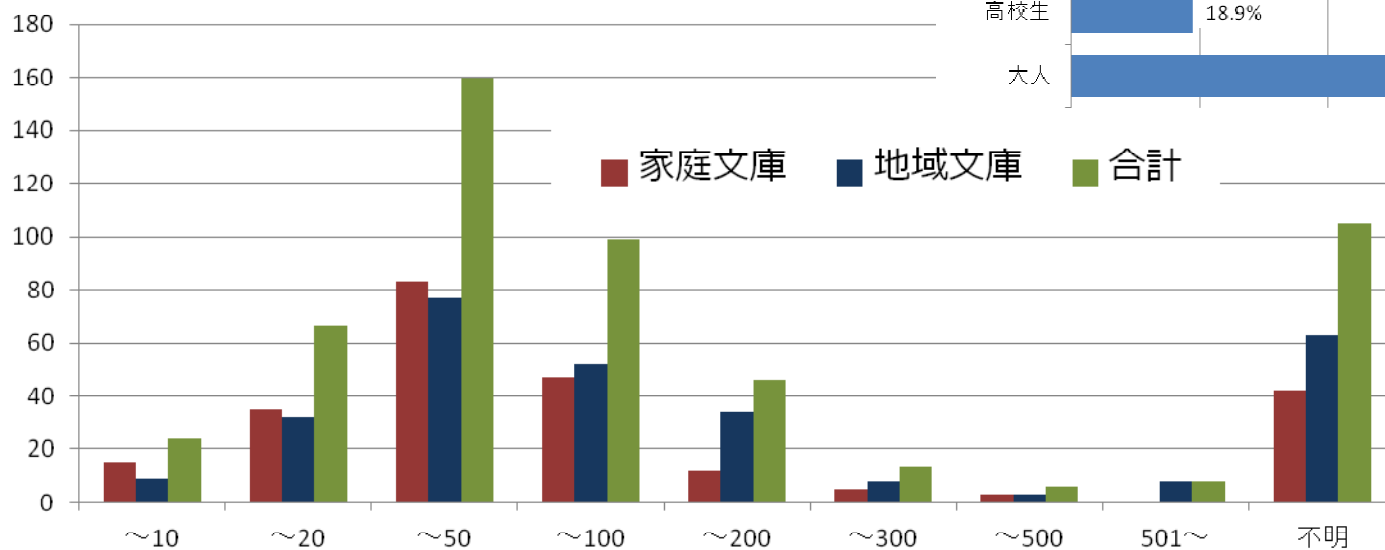
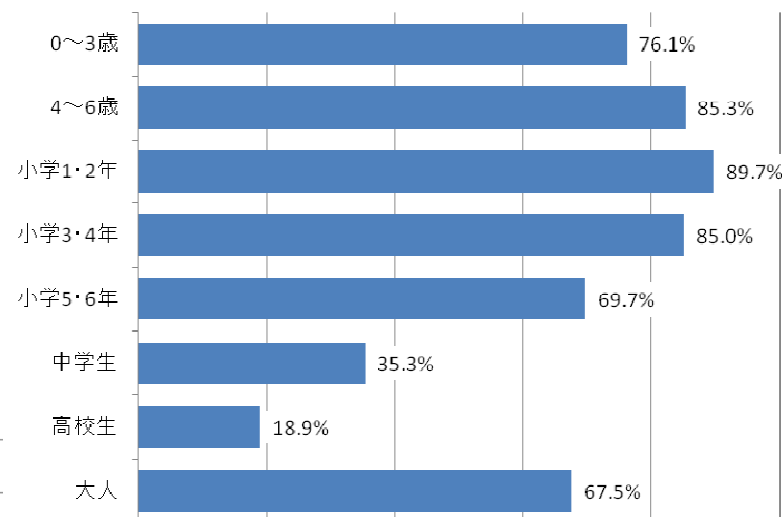
会員数・年齢別分布

▶ 会員数は減少傾向（1993年調査との比較）

▶ ~100人が大多数

▶ 幅広い年代の利用

▶ 小学生が中心だが、就学前・
中・高校生・大人(親)の利用も





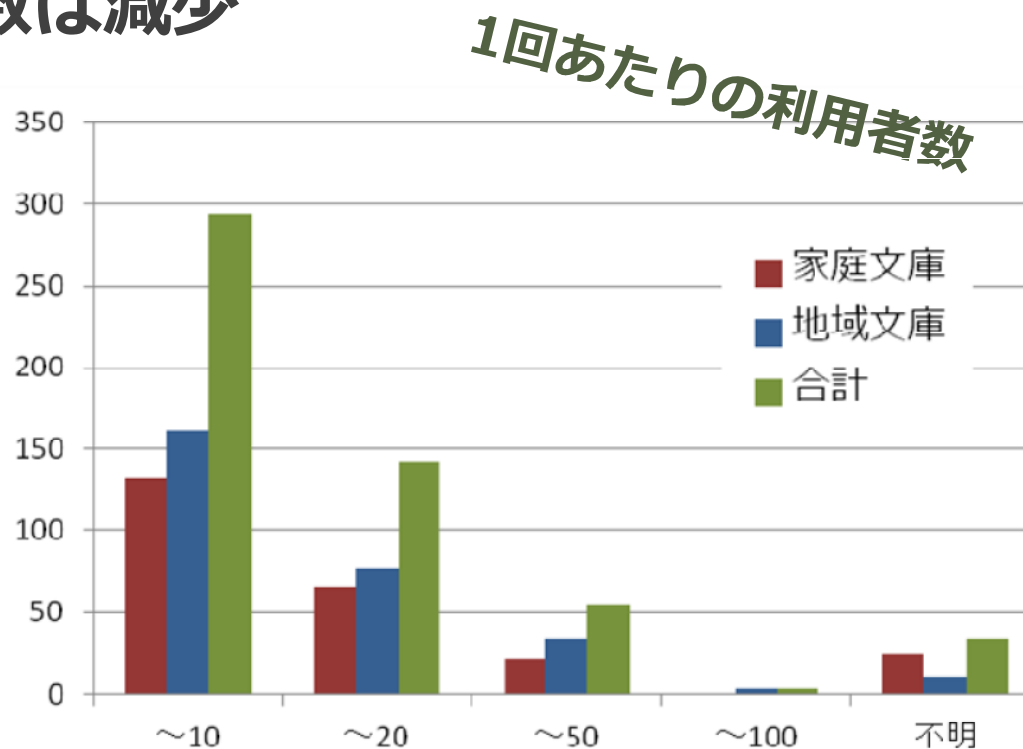
貸出と利用

▶ “より多く/より長く”の傾向(1993年との比較)

- ▶ 冊数：①5冊まで ②無制限 ③3冊まで…
- ▶ 期間：①2週間 ②1週間 ③無制限…

▶ 1回あたりの利用者数は減少

- ▶ 「～10人/1回」が最多（家・地）
- ▶ 会員数の減少との連動



文庫の活動2



お話し会・行事・対外的活動



お話し会・行事

▶ 約8割(429/81.3%)が“お話し会”を実施

- ▶ 家庭:187(77.3%) < 地域:242(84.6%)
- ▶ ①読み聞かせ ②おはなし ③手遊び・わらべ唄

▶ 約7割(371/70.3%)の文庫で“行事”を実施

- ▶ 家庭:152(62.8%) < 地域219(76.6%)
- ▶ ①クリスマス会 ②七夕会 ③人形劇

お話し会 (内容)

内容	家庭	地域	合計
読み聞かせ	178	233	411
おはなし	140	135	275
手遊び	120	144	264
ブックトーク	45	38	83
科学遊び	38	39	77
その他	70	101	172

行事・催しもの (内容)

内容	家庭	地域	合計
クリスマス会	103	153	256
七夕会	36	72	108
人形劇	17	36	53
ひなまつり	17	26	43
遠足・野外活動	15	16	31
映画会	5	10	15
その他	104	148	252





対外的な活動



▶ “出前”～出かけていく活動の拡がり

- ▶ 家庭:171(70.7%)> 地域:164(57.3%)が実施
- ▶ 子育て支援や老人関係の施設へも・

▶ 期待と危惧 両方の思い

- ▶ 期待：活動の場の拡がり⇔危惧：文庫本来の役割は？
出かける場所

内容	家庭	地域	合計
小学校	122	101	223
幼稚園・保育園	86	58	144
図書館	66	41	107
児童館	39	19	58
中学校	25	10	35
その他	93	69	162

その他

- ①子育て支援施設・活動へ
子育て支援センター, 保健所など
- ②老人関係施設へ
老人ホーム, 介護施設など
- ③その他
養護施設, 病院など

継続の意図



文庫への意識



今までの・これからの文庫

▶ 活動はこれからも続けたい！

- ▶ “今後も続けたい(続ける)”は、**451(85.4%)**
(思わない5, 分からない64, 未記入8)
- ▶ 運営者の高齢化・少人数化, 利用者の減少を
危惧しながら, “可能な限り活動の存続を”と希望

▶ 文庫を始めた動機・続けている理由

設定15項目の選択肢のうち (それぞれ5つまで選択)

- ▶ 双方で上位にあるもの (多く選択されたもの)
…不変で強い要素 (意識)
- ▶ 双方の順位に差があるもの (高→低 or 低→高)
…変化の見られる要素 (意識)



回答

家	地	合計	文庫を始めた動機	順位	No	順位	文庫を続けている理由	合計	家	地	変化
133	158	291	子どもが好きだから	2	1	2	子どもが好きだから	305	129	176	0
174	197	371	子どもの本が好きだから	1	2	1	子どもの本が好きだから	361	167	194	0
114	116	230	お話や読み聞かせをするのが好きだから	3	3	4	お話や読み聞かせをするのが楽しいから	275	128	147	-1
120	109	229	自分の好きな本を子どもに手渡したかったから	4	4	5	自分の好きな本を子どもに手渡せるから	200	109	91	-1
63	105	168	自分の子の読書環境を充実させたかったから	6	5	12	自分の子の読書環境を充実させたいから	33	13	20	-6
44	36	80	自分を文庫で活かしたかったから	10	6	7	文庫はやりがいがあるから	125	56	69	3
34	30	64	過去の文庫利用経験が楽しかったから	11	7	8	文庫の楽しさを他の人に伝えたいから	124	45	79	3
14	68	82	子どもの学校や友人の関係から誘われたから	9	8	14	子どもの学校や友人の関係があるから	11	4	7	-5
1	17	18	町会など地域の関係から誘われたから	14	9	13	町会など地域の関係があるから	22	2	20	1
11	19	30	仲間や友人がほしかったから	13	10	6	仲間と一緒にいるのが楽しいから	146	48	98	7
80	83	163	地域活動の一環として	7	11	3	地域で文庫の活動が必要だと思うから	302	125	177	4
10	21	31	ボランティアの活動に参加したかったから	12	12	11	ボランティアの活動を続けたいから	62	30	32	1
4	10	14	図書館や行政から呼びかけがあったから	15	13	15	図書館や行政からの要望があるから	9	2	7	0
108	110	218	近くに図書館などの読書施設がなかったから	5	14	9	近くに図書館などの読書施設がないから	116	56	60	-4
85	71	156	その他	8	15	8	その他	100	62	38	0

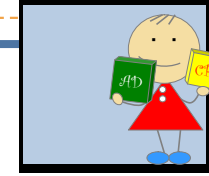
「不変」で「強い」要素・・・双方で上位

「変化」の見られる要素・・・順位の差 ≥ 4



【不変】で【強い】要素

- ▶ 子どもが好き
- ▶ 子どもの本が好き
- ▶ お話や読み聞かせが好き・楽しい
- ▶ 子どもに本を手渡すのが好き・楽しい



文庫活動の意識の基本3要素

【子ども】

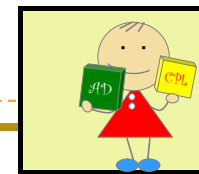
【子どもの本】

【本を手渡すこと】





【変化】の見られた要素




高→低

- ▶ 読書環境の充実のため
- ▶ 近隣の読書施設の有無
- ▶ 子どもの学校・友人の関係

低→高

- ▶ 仲間や友人とのつながり
- ▶ 地域活動の一環・必要性

- 
- ▶ 読書環境の充実
 - ▶ 読書施設の充実
 - ▶ 読書環境以外への視野拡大
 - ▶ 義務感から自主性へ
 - ▶ 取り組む意識, 姿勢の変化

- ▶ 文庫を共有する喜び
 - ▶ 文庫の楽しさの発見
- ▶ 社会的な視野, 意識の誕生
 - ▶ 一市民としての自覚





自由記入欄から

▶ 「理由」「動機」へのさまざまな意識

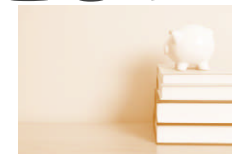
(256件の記入内容から)

「読書を通して子どもの成長を見守る喜び」「子育てからの
の拡がり」「子どもと出会い・一緒に本を楽しむ場」

「子どもの居場所・自由にくつろげる場」「異年齢・異
世代の交流の場」「若い親のバックアップ」「人との出
会い・つながり・拡がり」「文庫ならでの役割・使命
感」「文庫を引き継ぐ・利用者から運営者へ」「自分の
本を活かす・共有する場」「自分の経験を活かす場」

「講座や研修を契機に」「自分の居場所・自分の世界を
広げる場」「生活の一部・ライフワーク」「『子どもの
図書館』(石井桃子著)の影響・夢の実現」

「義務感・責任」



子どもの居場所
自由にくつろげる場

異年齢・異世代
の交流の場

読書を通して
子どもの成長を
見守る喜び

子どもと出会い・
一緒に本を楽しむ場

人との出会い
つながり・拡がり

文庫ならでの
役割・使命感

義務感
責任

文庫を引き継ぐ
利用者から
運営者へ

講座や研修
を契機に

自分の本を活かす
共有する場

生活の一部
ライフワーク

若い親の
バックアップ

子育てから
の拡がり

自分の経験を
活かす場

自分の居場所
世界を拡げる場

子どもの居場所
自由にくつろげる場

異年齢・異世代
の交流の場

読書を通して
子どもの成長を
見守る喜び

子どもと出会い・
一緒に本を楽しむ場

人との出会い
つながり・拡がり

文庫ならでの
役割・使命感

義務感
責任

文庫を引き継ぐ
利用者から
運営者へ

講座や研修
を契機に

自分の本を活かす
共有する場

生活の一部
ライフワーク

若い親の
バックアップ

自分の経験を
活かす場

自分の居場所
世界を拡げる場

子育てから
の拡がり

子どもの居場所
自由にくつろぐ場

異年齢・異世代
交流の場

子どもとの つながり

読書を
子どもの成長を
見守る喜び

交流の場
会合・
楽しむ場

人との出会い
つながり・拡がり

文庫なら
役割・

文庫へ の思い

読感
主

講座や研修
を契機に

自分の本を活かす

の一部
ライフワーク

ハッピーアップ

自分の 生き方

自分の
活か

の居場所
広げる場

子育てから
の拡がり

子どもの居場所
自由にくつろげる場

異年齢・異世代
の交流の場

読書を通して
子どもの成長を
見守る喜び

子どもと出会い・
一緒に本を楽しむ場

人との出会い
つながり・拡がり

文庫ならでの
役割・使命感

義務感
責任

文庫を引き継ぐ
利用者から
運営者へ

講座や研修
を契機に

自分の本を活かす
共有する場

生活の一部
ライフワーク

若い親の
バックアップ

子育てから
の拡がり

自分の経験を
活かす場

自分の居場所
世界を拡げる場

まとめ・考察





考察・課題

現在の文庫活動…変わったもの⇔変わらないもの

- ▶ 文庫数・利用者は減少傾向
 - ▶ 一方で、特に家庭文庫が充実（蔵書数・施設面）
 - ▶ 利用者の年齢層の拡がり
- ▶ 運営者の高齢化・少人数化
 - ▶ 新しい文庫の担い手も年配者に
- ▶ 基本的な活動内容は不変
 - ▶ 貸出・行事・地域における文化活動
- ▶ 新しい活動・役割・可能性の発見
 - ▶ “出前”先の変化と拡がり





まとめ

文庫の活動を支える意識

…文庫を始めた動機・続けている理由

- ▶ 活動の意識の基本3要素
 - ▶ 子ども・子どもの本・本を手渡すこと
- ▶ 文庫を始め、継続する意識を支える要素
 - ▶ ①子どもとのつながり ②自分自身の生き方
③人・社会とのつながり 3者の相互関係の中で
文庫ならではの役割・使命の発見と認識
生活の一部・ライフワークとして活動を継続



Acknowledgements



ありがとうございました

17th Nov. 2012. Shiozaki, J
shio-js@z6.keio.jp